

令和5年度第3回狭山市社会福祉審議会会議録

開催日時 令和6年2月13日(火)
午後1時32分から午後2時24分まで

開催場所 市役所 603・604会議室

出席者 15名
朝賀委員、井村委員、大野委員、小野委員、諏訪委員、高橋委員、中澤委員、中野委員、成瀬委員、日比委員、寶積委員、細井委員、堀委員、宮本委員、矢吹委員

欠席者 なし

事務局 18名
小谷野市長、鷹野福祉部長、昔農こども支援部長、五十嵐健康推進部長、濱田福祉部次長(福祉政策課長兼務)、荒田こども支援部次長(こども支援課長兼務)、吉村健康推進部次長(介護保険課長兼務)、平野障がい者福祉課長、湯浅高齢者支援課長、小池健康づくり支援課長、木村保健指導担当課長、吉田障がい者福祉課総務医療担当主幹、吉澤介護保険課管理・保険料担当主幹、川島介護保険課介護事業担当主幹、吉里介護保険課認定担当主幹、阿部福祉政策課総務・政策担当主幹、小池福祉政策課同担当主査、鹿野福祉政策課同担当主任

傍聴者 なし

1 開会

2 会長挨拶

3 諮問

市長より諮問書を読み上げ、諮問書及び計画(案)の冊子を会長へ渡す
諮問に際し、市長より挨拶
諮問を受けて、会長より挨拶

4 議事

報告事項

(1) 第6次狭山市障害者福祉プラン(素案)について(当日配布資料1)

障がい者福祉課長から説明

〈質疑応答〉

委員 障害でもいろいろな障害福祉サービスがあると思うが、例えば、現状で不足している障害福祉サービスはどんなものがあるのか?

所管課長 ある程度のところと言えば、通称、障害者総合支援法、こちらの方で、かなりのメニューが充実しつつある中で、メニュー自体については、いわゆる措置の時代と比較したら、格段と増えてきている状況だというふうに考えている。

特に現状の中で言うのだとすれば、やはり施設サービスで、申し込みをし、待機している方が、知的・身体ともに、10数名いらっしゃる。正確な数字は、ここの場に持ってきていないが、(10数名)以上いるのは間違いない。

その施設サービスに代替するサービスとして、在宅の延長線上であるグループホーム。こちらのサービスが、大変今、重要なサービスになっているというふうに考えている。

これはあくまでサービスという部分であり、高齢の部分と重なっていくが、当然この障害の理解・促進という部分、特に障害部分には合理的配慮、こういった部分であるとか、権利擁護、こういった部分についても、大変重要な施策であり、今後についても、ますます重要視されていくのだろうと考えているところである。

委員 最近、特養の方にも、高齢化した障害者の方が、結構、相談に来られ、実際に受け入れもしている。高齢者のような認知症の方かもしれないが、障害の知的とはまた分野がちょっと違ってきて、介護の仕方とかも、結構異なる部分があったりするの、障害者の方の高齢化ということも今後の課題かとは思っている。社会福祉法人としても、今後、市内の障害福祉サービスのどういったものが充足していて、不足しているのか。もちろん高齢者だけでなく、児童の障害もあるだろうし、保育園でも、支援や加配が必要な方も多く、今、増えてきている印象があるので、その辺の情報などを今後も継続して教えていただけると、とても良いと思う。

副会長 重点となっている情報提供や防災体制、成果目標のところは福祉サービス中心であった。重点ということなので、計画の中身としてどんなことが触れられているのか教えていただきたい。

所管課長 まず、情報提供の充実については、令和4年度末に手話言語条例ということで、条例制定の方を進めてきた。まずはあらゆる方に対する情報提供といった中で、聴覚障害だけではなく、高次脳機能障害であるとか、統合失調症、そういった方々にも配慮した情報提供、また当然そのときにはコミュニケーション手段、コミュニケーション機器であるとか、そういった機器の業務拡大についてもメニューの中に入れさせていただいている。

また、防災体制の部分については、今年の1月1日にも大きな震災があったが、狭山市でも起きる可能性がある中で、特に停電に着目をしている。例えば、入間川流域の河川敷、ここが氾濫するということもあるだろうし、もう本当に大きな地震になってしまったら、どうにもならない可能性も高いのだが、まずは停電時の対応として、医療ケア児(者)に対しての電源の確保ということで、福祉避難所、またその福祉避難所

への個別支援計画を、このプランの中で重点的に取り組んでいければというふうに考えている。

会 長 今、話のあった障害の方に対する個別支援計画は、施設の方で作ってもらっているのか？紐づけという意味で。

所管課長 まずは、児童の方で個別支援計画を立てようと思っている。個別支援計画については、災害時の個別支援計画ということで、狭山市においては、医療ケア児の協議会を令和4年度に設置したので、その協議会の中で、個別支援計画ができつつある状況である。

委 員 今の防災に関してだが、福祉避難所は狭山市に現在何か所あるのか？
所管課長 福祉避難所というと、高齢の方を対象としたものと、障害をお持ちの方を対象にしたものがある。（障害の方は、）青い実学園、しののめ、大樹の森、狭山特別支援学校、中新田自立スクエアの5か所である。

委 員 高齢者に関するよりも、障害児を持ったお母様方が、やはり一般の避難所に入ったとき、障害を持っていると嫌がられる方が多いので、そういった避難所があれば助かるなという声を聞くので、もしも災害が起きた時には、そういった対応をお願いしたい。

所管課長 （高齢の方を対象とした福祉避難所の数の）数字が出てこなかったもので、障害の方で答えさせていただくが、いわゆる一時避難所と呼ばれるところに行くのではなく、この個別支援計画の中で、二次避難所である福祉避難所、こちらの方に直接避難できるような仕組みづくりというのを、今、体制を整えつつある状況である。

審議、意見、調整事項

(1) 第9期狭山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について

(会議資料1、当日配布資料2-1～2-3)

健康推進部次長（介護保険課長）から説明

〈質疑応答〉

会 長 今回、事務局でまとめていただいた答申案については、今、説明があったように3つの視点でまとめたということである。

1つは基盤整備、もう1つは地域ケアシステムの深化、それから介護人材の確保、1番上が、主に地域密着サービスの基盤整備ということである。そこは、各委員さんからも出た意見を取り上げたということである。

介護人材の確保については、一部出ていたが、県が、主に主体となっているような計画の位置付けだったので、もう少し市の方でもできることはやっていただきたいという意見があったので、これを載せたということである。

そういう状況だが、皆様からは、この意見も取り入れるべきではないかというようなお考えがあれば、新たに付け加えることも検討するの

で、ただいま配布したこれまでの主な意見要望なども踏まえて、ご意見をいただければと思う。

副会長 資料2-1は、こちらの審議会のメンバーから出た意見をよく拾っていただいているなというふうに全体として思う。

あと一点、もし付け加えさせていただくならば、この資料2-1で言うと、最後の施策の推進や審議の進め方という部分について、やはり地域包括ケアシステムというのを推進していくときに事業者の方々、市民の方、普段第一線でやってらっしゃる方々とよく意思疎通をしながら進めていくということが大事だと思う。

必要に応じて、そういう協議の場を作ったりしながら、推進する仕組みについて、3年に1回計画を作るタイミングで、そういう議論が始まっているような印象を少し受けたので、その辺り、もう少し日頃から、意思疎通をして討論していくような仕組みを持ち続けること、特に部会や委員会などを作っても良いのではないかと申し上げたが、あるいは、もしかしたら医療・介護連携も、そうかもしれないし、もう一度施策についても、そういう場があった方がいいかもしれないということを感じているので、その辺り、推進の仕組みについて、お考えになった方が良くと思う。

所管課長 今回この9期計画を作るにあたり、そういった部会の作成や審議会のあり方というところでも、いろいろとご意見をいただいたところである。

今後、そういったことも踏まえ、第9期の計画の推進体制、それから10期の3年後の計画を策定していく体制・仕組みについては、もう少しそれぞれの事業者さんなどとも連携を取り、やはり地域の課題であるとか、事実上、そういったものを、もっともっと拾い上げて、次の計画に生かしていくことができればいいのかというふうには考えている。

そういった意味では、先日の介護サービス事業者協議会との打ち合わせなども、コロナで、できていなかったというのもあるが、徐々にスタートさせることができたので、そういった形でどんどん展開してまいりたいというふうに考えている。

会長 今回、答申案の意見の中に入っていないが、今の策定体制・推進体制については、意見の中に新たに入れるか？

所管課長 入れるべきではないかと思う。

会長 入れるべきではないかという意見もあるが、委員の皆さんとしてはどうか？

所管課長 今いただいた意見も参考にし、意見書の中に、どういった形で盛り込むかというのは、今後これを委ねていただいて、入れる方向で改めて考えていきたい。

会 長 そこは、会長・副会長それから市との調整の中で盛り込んでいくという方向で皆さんのご承認をいただけるか。

【委員より承認】

そのように対応していきたいと思う。他に、こういった意見も入れてくださいというようなことがあれば、なんなりとお出しいただければと思う。もし、後で気が付いて、これというのがあれば、私の方に、ご連絡をいただければ、今申し上げたように、副会長とそれから事務局と調整させていただく。

5 その他

特になし

6 閉 会

〈終了〉